



鶏 鳴

けいめい

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『黙れ。静まれ』

聖書(マルコ福音書4章39節)

牧師 河合裕志

『向こう岸に渡ろう』とイエスは弟子達に声をかける。一行は舟に乗ってガリラヤ湖を東に向った。風はソヨソヨと気持ちいい。

ところが湖の中程に進んだ時に激しい突風に見舞われた。静かだった波が急に大きく頭をもたげ次々と舟を襲う。弟子達の多くはこの湖の漁師でありこれまでいくつもの突風を経験。なので最初のうちは恐れなかった。しかし段々と恐れを。いつまでたっても強風は止まず水の浸入に舟が沈みかけたので。

このまんまでは俺達は湖のモクズと化してしまう。イエスに助けてもらわねば。この時イエスは舟尾の高い所でグーグーと眠っていた。ノンキにも程がある。彼らは一勢にイエスを起こしにかかった。「先生、わたし達がおぼれてもかまわないのですか」。泳ぎの達人揃いのかれらもこの場面ではすっかり自信を失っていた。

あまりのやかましい声にイエスは安眠を妨げられ起き上がる。そしてビュービューと吹きつけて来る風、ザンブザンブと押し寄せて来る波に向かってこれを叱り『黙れ。静まれ』と声を放った。するとたちまちのうちに風はヘナヘナと力を失い波は静かになり凪になった。

そしてイエスは弟子達に言う。『なぜ怖が

るのか。まだ信じないのか』。彼らは二回、恐怖を感じた。一回目は死の恐怖、二回目はこの目の前の人に対して。「一体この方はどなたなのだろう。風や湖さえも従うではないか」と。

彼らはこの人に神的存在を直感。彼らはこれまでイエスが病人をいやす場面に何度も直面し大きな驚きを覚えていたけどこの人の力が自然界まで及ぶのは初めて見た。自然界をおさめるのは神の働き。この力をこの人は持つ。人間となって来た神に今彼らはイヤでも直面させられた。

大海に浮ぶ小さな舟に教会はしばしばたとえられた。この舟は時に迫害の嵐に見舞われ激しくゆさぶりをかけられた。しかし舟は最終的に沈没しなかった、舟にイエスが乗っていたから。一人一人の信仰者も海原に行く舟。外からの圧迫と共に心の中に不信仰や憎しみの思いが頭をもたげる時がある。そんな時わが内に宿るイエスから「静まれ」と静めてもらおう。

日本の国もまさに日本丸として航行中。一度は太平洋戦争に敗れ座礁した。二度とそんなことのないようにしっかりと舵を取って行かねば。イエスよ、この国を正しく導き平和の海を行かせてください。

集会案内

主日礼拝 : 毎日曜日午前10時15分
 主日夕拝 : 毎日曜日午後 6時
 子どもの教会 : 毎日曜日午前 9時
 中高青年会 : 毎日曜日礼拝後
 おしゃべり会 : 毎木曜日午前10時
 聖書を学ぶ集い : 第4水曜日午前10時